

伝統医学入門 Introduction of Traditional Medicine

薬：K1-21211MY、生命：K1-21211MS

医療科目 2、3年／前期 1.5単位 自由選択科目

科目責任者 馬場 正樹(臨床漢方研究室)

■教育目的

近年、伝統医学・伝承薬物が見直されてきており、医療現場でもその知識が要求されつつある。特に、漢方医学は広範な知識を必要とするため、漢方医学・中医学の基礎理論を中心に概説し、その理論体系を学ぶ。また、実際に処方の製剤も体験する。

【卒業認定・学位授与の方針：YD-①、②、③】

■学習到達目標

1. 漢方の基礎理論および概念を理解する。(知識)
2. 代表的な処方の方意を理解し、その適用を概説できる。(知識、技能)
3. 漢方の処方選択に至るプロセスを説明できる。(知識、技能、態度)
4. 日本を含む世界の伝統医療の現状について概説できる。(知識)

■準備学習（予習・復習）

予習：事前公開のプリントを中心に参考書等の該当箇所を目を通しておく(20分以上)

復習：ノートや講義プリントを参考書等で確認する。(30分以上)ネット情報は誤りも多いので注意すること。質問は随時受け付ける。

■授業形態

実習・フィールドワーク、講義

■授業内容

No.	項目	授業内容	SBOコード
1～8	漢方基礎理論(1～8)	東洋医学の歴史、東洋医学の理論背景、配合生薬の四気五味(気味・性味)、五臓六腑、陰陽五行・八綱分類、気血水理論の基礎、六病位について	E2(10)-①-1～2 E2(10)-②-3
9	漢方の実際(1)	老人に用いられる漢方処方解説 腎虚の漢方処方製剤実習	E2(10)-②-1～3 E2(10)-③-1
10	漢方の実際(2)	消化器症状に用いられる漢方処方解説 気虚・水毒の漢方処方製剤実習	E2(10)-②-1～3 E2(10)-③-1
11	漢方の実際(3)	ストレスに用いられる漢方処方解説 気虚・気滞の漢方処方製剤実習	E2(10)-②-1～3 E2(10)-③-1
12	漢方の実際(4)	女性の冷えなどに用いられる漢方処方解説 血虚・瘀血・水毒の漢方処方製剤実習	E2(10)-②-1～3 E2(10)-③-1
13	漢方の実際(5)	風邪などに用いられる漢方処方解説 六病位に基づく漢方処方製剤実習	E2(10)-②-1～3 E2(10)-③-1
14	漢方の実際(6)	代表的な薬局製剤である丸剤・散剤の処方解説および製剤実習	E2(10)-②-1～3 E2(10)-③-1
15	漢方の診断法	漢方の診断法の解説 四診、特に腹診についてシュミレーターを用いて解説する	E2(10)-②-1

■授業分担者

馬場 正樹(No.1～15)、矢久保修嗣(No.9～13、15)

■課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

定期試験は課さず、出席・受講態度(Web 課題を含む 60%)およびレポートの提出状況及び内容(40%)により総合的に評価する。レポートは次の回で一部を引用して解説し、質問は随時受け付ける。

■教科書

特に指定しない。随時プリントを配布する。

■参考書

『実践漢方生薬学』小池 一男ら 編(京都廣川書店)

『薬学生のための漢方医薬学』改訂第3版(南江堂)

■その他

3年次後期に伝統医学概論の受講を希望する学生は、本講座を受講することが望ましい。